

家を出る時は雨でしたが、武蔵小杉の駅を降りたところ、みぞれ様に舞い散っておりまして。降り続けるかな？本格的に積もると、それは大変な状況に…。気になりますね。

雪国ならあたり前ですが、思えば小さい時にはその雪の生活が日常だったので、不便や寒さをそんなに感じないで過ごせていたように思います。すごいことかもしれません。それはただ他の地域を知らないから。知らないことの怖さもありますが、夢や好奇心にもつながる時もありますね。メルヘンの世界のような、それもまたいいですね。

コロナウイルス感染がじわじわと進んでいる様相、コロナはやはりそれなりに怖い感染症です。ノロウイルスもインフルエンザにも、共にご留意していきましょう。(菅野)

目次

- 1 今月の現場から（保健師コラムリレー）
- 2 産業衛生学雑誌 2024年66巻1号 公益社団法人 日本産業衛生学会
- 3 関連情報

1 今月の現場から（保健師コラムリレー） 2024.2.1

事業場へのアンケート調査から考える両立支援の課題とこれからについて

長崎産業保健総合支援センター 産業保健専門職 山下 美和子

<https://www.ryoritsushien.johas.go.jp/staff.html>

病気の治療を受けている人にとっては、体調の変化や薬による副作用、定期的な通院等といった様々な負担があります。

病気や内部障害は見た目にはわからないことが多く、当事者にとっては職場でどこまで理解してもらえるのか、どこに相談すれば良いのか悩むことがあると思います。高齢化が進むことにより、何らかの疾病を抱えながら働きつづける人が増加する中、治療と仕事の両立支援をさらに推進していく必要があります。

かつて私が企業の産業看護職として勤務していた時は、顔の見える関係性の中で、産業医との連絡を密に取りながら、病気を持つ社員からの相談対応、職場や人事部門との連絡調整を行ってきました。

一方、産業医や産業看護職が常駐していない中小事業場の場合はどうなのでしょう？

当センターで令和4年と令和5年に実施した県内の健康経営優良法人（中小規模法人）事業場へのアンケートによると、

「両立支援にすでに取り組んでいる」と回答した事業場は53%で、最も多い取り組みは「相談窓口を作り、その周知を図っている」で56%。

「長期療養が必要な病気の治療をしながら働いている従業員がいる（過去にいた）」と回答した事業場は41%で、そのうち「困っていることがある」と回答した事業場は58%。困っている内容について最も多いものが「職場復帰に関すること」で31%、次いで「主治医との連携が取りづらい」で19%でした。

また、希望があった事業場への個別訪問を実施したところ、事業場の担当者から「詳しい病状がわからず、いつ職場復帰できるのか」、「復帰後職場でどう配慮すればいいのか」等の相談を受けました。

※3つの重点的な取組みが記載されています。続きは URL アドレスへアクセスをどうぞよろしく！

「事業場担当者へのアドバイスや支援」の方向性、まさに求めていた支援だと私も強く思います。中小企業の人財育成にもなりますね。(菅野)

2 産業衛生学雑誌 2024 年 66 巻 1 号 公益社団法人 日本産業衛生学会

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/sangyoeisei/list/-char/ja>

○総説 わが国における産業看護に関する研究の動向と今後の方向性

河野 啓子, 武澤 千尋, 後藤 由紀

DOI <https://doi.org/10.1539/sangyoeisei.2023-018-A>

https://www.jstage.jst.go.jp/article/sangyoeisei/66/1/66_2023-018-A/_pdf/-char/ja

○原著 新型コロナウイルス感染症流行下におけるバス事業労働者のメンタルヘルスと新型コロナウイルス恐怖および雇用の不安定性との関連

赤川 景子, 渡井 いずみ

DOI <https://doi.org/10.1539/sangyoeisei.2023-013-B>

https://www.jstage.jst.go.jp/article/sangyoeisei/66/1/66_2023-013-B/_pdf/-char/ja

○短報 CREATE-SIMPLE による推定ばく露濃度と個人ばく露濃度測定におけるばく露濃度の比較

山本 忍, 保利 一, 宮内 博幸

DOI <https://doi.org/10.1539/sangyoeisei.2023-019-C>

https://www.jstage.jst.go.jp/article/sangyoeisei/66/1/66_2023-019-C/_pdf/-char/ja

○調査報告 産業保健専門職が発揮するリーダーシップの準備状態を測定する尺度 : TOMH リーダーシップチェックリスト (TLC) の開発と信頼性・妥当性の検証
櫻谷 あすか, 津野 香奈美, 井上 彰臣, 大塚 泰正, 江口 尚, 渡辺 和広, 荒川 裕貴, 川上 憲人, 小林 由佳

DOI <https://doi.org/10.1539/sangyoeisei.2022-015-E>

https://www.jstage.jst.go.jp/article/sangyoeisei/66/1/66_2022-015-E/_pdf/-char/ja

○資料 <中小企業安全衛生研究会 好事例収集プロジェクト報告>

中小企業で展開されている産業保健活動の好事例の収集と今後の取り組み推進への示唆
錦戸 典子, 森口 次郎, 近藤 祥, 寺田 勇人, 今井 鉄平, 茅嶋 康太郎, 齋藤 明子, 柴田 英治, 島本 さと子, 軸丸 靖章, ...

DOI <https://doi.org/10.1539/sangyoeisei.2023-024-S>

https://www.jstage.jst.go.jp/article/sangyoeisei/66/1/66_2023-024-S/_pdf/-char/ja

3 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

(1) 大臣会見等 ・令和6年2月2日付大臣会見概要

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=s1V_brPMY7BskBAhY

(2) 令和5年度 第6回化学物質管理に係る専門家検討会 議事録

https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=E_XSki2cAGLz0y2BY

◇ J I L P T から

(1) 企業における風しん対策の呼びかけ／厚労省

厚生労働省では、従業員とその家族、取引先等を風しんから守るため、企業における風しん対策を呼びかけている。1962年度～78年度生まれの男性は、過去に公的な風しんの予防接種が行われていなかったため、風しんにかかる可能性が高い。風しんは感染力が強く、職場、取引先、家族など周囲に感染させるおそれがある。妊娠初期に感染すると、子に障害が起きることがある、などとし、「職場における風しん対ガイドライ」、実施中の対策（無料で抗体検査と予防接種を受けられるクーポン券送付）、企業での取り組み事例等を紹介している。

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/rubella/index_kigyo.html

(2) 相談内容、労働時間関係が24.6％／連合全国一斉集中労働相談ホットライン

連合は1月25日、11月の「過労死等防止啓発月間」の一環として2023年12月13・14日に実施した全国一斉集中労働相談ホットライン「STOP！長時間労働～あなたの働き方は大丈夫？～」の集計結果を発表した。相談件数は525件で、女性からの相談が5割超（53.5%）、年代別では50代（32.3%）、次いで60代（23.2%）、40代（18.1%）。雇用形態別では、正社員が約5割（47.4%）、業種別では「医療・福祉」（23.6%）が最多。相談内容は、大項目別では「労働時間関係」（24.6%）が最多、詳細項目別では「パワハラ・嫌がらせ」（16.4%）が最多となった。

https://www.jtuc-rengo.or.jp/soudan/soudan_report/data/20231213-20231214.pdf?1004

(3) 「女性のチャレンジ賞」の候補者を募集／内閣府

内閣府は、2024年度「女性のチャレンジ賞」の候補者を募集している。表彰の対象は、起業やNPO、地域活動など様々な活動で活躍している女性や、そうした女性を応援している方（男性を含む）など。応募締切は2月29日(木)必着。表彰式は6月下旬を予定。

https://www.gender.go.jp/public/commendation/women_challenge/boshu.html

(4) セミナー「「顔」をみて「ねむけ」を読み取るワザ 眠気表情評定」／
大原記念労働科学研究所

大原記念労働科学研究所は2月14日(水)に、セミナー「「顔」をみて「ねむけ」を読み取るワザ眠気表情評定～ドライバーモニターリングシステムの基礎技術～」をオンラインで開催する。「眠気表情評定とは何か?」「どのような仕組みか?」、国土交通省による「ドライバーモニターリング(眠気・居眠り検知システム基本設計書)」に採用されている手法について解説。事例紹介を交え、ドライバーモニターリングシステムや「眠気表情値」の役割について聞く。参加無料、要事前申込。

https://www.isl.or.jp/service/seminar/2023_5.php

◇ 労働安全衛生総合研究所 メールマガ から

(1) 【181-2】 コラム

リスクと健康診断～職域健康モニタリングのターニングポイント

(化学物質情報管理研究センター 化学物質情報管理部 部長 山本健也)

職域では、労働者やその組織の健康状態を把握するための様々なモニタリングが実施されています。これらの健康モニタリングには、その導入時の時代背景を反映したターニングポイントとしての意義がありました。今般あらたに「リスクアセスメント対象物健康診断」が導入されることを期に、本稿では平成以降の職域健康影響モニタリングのターニングポイントを改めて振り返ります。

↓↓↓ 以下のリンク先で内容をご覧ください。 ↓↓↓

https://www.jniosh.johas.go.jp/publication/mail_mag/2023/181-column-1.html

(2) 「令和5年度 過労死等防止調査研究センター 研究成果発表シンポジウム」
ハイブリッド開催のご案内

当研究所過労死等防止調査研究センターでは、過労死等の最新の調査研究成果を発表し、過労死等の防止対策を考える研究成果発表シンポジウムを2024年3月11日(月)13:00～ハイブリッド開催します。事前登録にてどなたでも無料でご参加いただけます。

参加をご希望の方は、以下のリンク先よりご登録をお願いします。

↓↓↓ 以下のリンク先で内容をご覧ください。 ↓↓↓

<https://records.johas.go.jp/news/r5sympo>

◇ 保健指導リソースガイド | メールマガジン から

(1) 「キッチンでの料理体験」を通じて肥満・メタボを改善するプログラム
体重や内臓脂肪の減少を確認 大阪大学など

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/dug0i8afwzmv/cntht64v/>

栄養疫学のエビデンスにもとづき、さらには、「キッチンでの実体験」を通じて、生活習慣の改善に必要な技術を習得するという独自性をもつ

(2) 人は40歳になるまで自分の健康を真剣に考えない

40歳を過ぎたら実践すべき7つの健康習慣

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/16x3lpv257my/cntht64v/>

- 1.健康診断を毎年受ける
- 2.もっと健康的な食事を
- 3.運動をする 座ったままの時間を減らす
- 4.睡眠を十分にとる
- 5.悪い習慣を断ち切る
- 6.若い人のためのメンタルヘルス
- 7.健康的な性生活も大切

(3) 働き盛りの「AYA世代」のがん、女性が7割超

院内がん登録における小児・AYA集計報告公表

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/t6c734fqeyp9/cntht64v/>

15歳以上40歳未満のAYA世代では、女性の割合が7割を超え、乳癌や子宮頸部・子宮癌の割合が高いことがわかった。

(4) 【中年クライシス】 ストレスが肥満やメタボを悪化

ストレスでメンタルヘルス不調に 対策は？

<https://i.r.cbz.jp/cc/pl/kcax9386/ctd9gjemn8h2/cntht64v/>

ストレスによるうつ状態が続くと、体重が増加し、過体重や肥満になりやすいことが明らかになった。ストレスと炎症と関連が深く、メタボとも関連していることも分かった。ストレスを管理することが、メタボに対策するために重要であることが示された。

(5) 日本産業保健法学会「広報 on HP」第20号

産業保健看護職の現任教育に関する座談会

<https://tokuteikenshin-hokensidou.jp/reference/2024/02/-on-hp20.php>

<https://jaohl.jp/koho-20/>

2022年度開催された「産業保健のあり方に関する検討会」では、産業保健看護職の法制化も含めて検討される予定でしたが、検討会自体が何も結論を出せないまま終了しました。それでもその過程で、産業保健看護職の研修・教育の重要性が認識され、現任教育について検討する流れができました。

そこで、主な内容について、議論を行いました。

- 1) 現在取り組んでいる産業保健看護職教育の検討の概要
- 2) 産業保健看護職に求められる技術・能力
- 3) 産業保健看護職の育成における課題
- 4) 研修プログラムの実装に向けての課題
- 5) その先の法制化に向けての課題

◇ ◆【From_M】 から 情報提供ありがとうございます

- ◆慢性疾患を有する人の身体活動のポイント - 厚生労働省
健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023
慢性疾患を有する人の身体活動のポイント
(高血圧、2型糖尿病、脂質異常症、変形性膝関節症)

<https://www.mhlw.go.jp/content/001195871.pdf>

- ◆糖尿病フットケアノート（一般の方向け配布用）

「患者向け資料」ページ内に「糖尿病フットケアノート（一般の方向け配布用）」を追加掲載しました。

<https://dmic.ncgm.go.jp/medical/120/instructiontool.html>

ここでは、糖尿病をお持ちの方へ向けた解説資料を掲載しています。医療者が使用するだけでなく、一般の方もご利用いただけます。 糖尿病の解説資料（要約版）
糖尿病について、病気、食事・運動、治療に関わることをパンフレットにまとめました。
日本語やそれ以外の言語でも作成していますのでご活用ください。

- ◆職場の化学物質管理に関する理解のためのマニュアル

産業医向け（労働安全衛生総合研究所 化学物質情報管理研究センター）
化学物質の自律的な管理へ -産業医向け-（令和5年6月）

<https://www.jniosh.johas.go.jp/groups/ghs/doc/manualForDoctors.pdf#zoom=100>

- ◆労働基準関係リーフレット

https://jsite.mhlw.go.jp/fukuoka-roudoukyoku/jirei_toukei/pamphlet_leaflet/kijun.html

労働基準法の基礎知識(1.3MB)

平成31年4月から、労働条件の明示がFAX・メール・SMS等でもできるようになります
(使用者の方) (376KB) などなどたくさんあります

- ◆第4回「日本人の食事摂取基準（2025年版）」策定検討会開催案内

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/newpage_00093.html

令和6年2月9日（金）10:00～12:00 AP 東京八重洲 P ルーム

検討会のYouTube 配信について

第4回「日本人の食事摂取基準（2025年版）」策定検討会(YouTube)

<https://www.youtube.com/watch?v=EKzHeXMnl3U>

開催日時より配信予定です。開催日時以降の視聴はできません。

- ◆「特定健診・保健指導に係るオンライン資格確認（資格確認限定型）の導入等について（周知）」を掲載しました。

<https://www.mhlw.go.jp/content/001196621.pdf>

◆産業医科大学医学部 両立支援科学

○研修会のご案内○

第1回 産業医・産業保健スタッフ向け 治療と仕事の両立支援研修会

<https://ryoritsu-uoh.com/news/post-481/>

【開催概要】

- テーマ：骨髄移植後の復職事例を通して“易感染症状態の就業配慮”を考える
- 日時：2024年2月20日（火）18:00～19:00
- 会場：オンラインと現地（産業医科大学）のハイブリッド方式
- 参加費：無料
- 参加対象：産業医または産業保健スタッフの方
- 事例提供：渡邊 萌美 先生（産業医科大学医学部両立支援科学・医師）、
奥 昌彦先生（産業医科大学病院・血液内科・医師）
- お申し込みフォーム：<https://forms.gle/jecJbUS1SdSDbvq28>

◆「動画」ハーバード大学 T.H.Chan 公衆衛生大学院 武見国際保健プログラム設立

40周年記念シンポジウム ーデジタルヘルス：地域医療にとっての機会と課題ー

https://www.youtube.com/watch?v=4_RJhsUdLNQ

◆男女共同参画など多様な背景を持つ会員の学術活動への参画と今後の支援方策に関する調査報告書

https://www.jmsf.or.jp/activity/page_658.html

<https://www.jmsf.or.jp/uploads/media/2024/01/20240131171354.pdf>

日本医学会連合 ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）推進委員会

◆がん患者様の変化する外見をトータルケアする“美療”サロン

「FOR AC 東京大学医学部附属病院店」1月31日（水）オープン |

ウィッグやカバーメイク、ネイルケアも 株式会社ファーストクルー

<https://prtmes.jp/main/html/rd/p/000000002.000126291.html>

◆地方公務員安全衛生推進協会

小冊子「メンタルヘルス不調による休業者のための職場復帰ハンドブック」の販売を開始しました。

<https://www.jalsha.or.jp/pub/pub02/>

試し読み

https://www.jalsha.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2024/01/%E8%81%B7%E5%A0%B4%E5%BE%A9%E5%B8%B0%E3%83%8F%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF_%E8%A9%A6%E3%81%97%E8%AA%AD%E3%81%BF-1.pdf

https://www.jalsha.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2024/01/%E8%81%B7%E5%A0%B4%E5%BE%A9%E5%B8%B0%E3%83%8F%E3%83%B3%E3%83%89%E3%83%96%E3%83%83%E3%82%AF_%E8%A9%A6%E3%81%97%E8%AA%AD%E3%81%BF-1.pdf

本書ではメンタルヘルス不調により休業された方々のために、復職までの全プロセスを示しつつ、休業前から休業中、復職後の職場定着まで、各段階での適切な過ごし方や気を付けることなどを具体的に解説しています。

◆心の健康づくり推進計画（令和6年度）作成例

<https://jsite.mhlw.go.jp/fukuoka-roudoukyoku/content/contents/001702302.xlsx>

◆「ともに歩む」能登半島地震から1カ月 - Yahoo!ニュース

<https://news.yahoo.co.jp/pages/20240201>

小野田 富貴子（両立支援担当）

fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp

中山 篤 （メンタルヘルス担当）

atsui78natsu@gmail.com

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

yukikan28@gmail.com